

# 小学校体育科における体づくり運動領域固有の 愛好的態度に関する実践研究

—「かかわり論」及び「発生的特性」における観点から—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

野々部 雅

本研究は、体育科教育学における松田の「かかわり論」及び「発生的特性」の観点を踏まえた小学校低学年，中学年，及び高学年を対象とした3つの実践を通して，小学校体育科における体づくり運動領域固有の愛好的態度について検討することを目的とした。

「描写的観察」に基づく実践（実践Ⅰ）では、「かかわり論」及び「発生的特性」に関する理論的枠組みを検討した。加えて、「焦点観察」に基づく実践（実践Ⅱ）及び「選択的観察」に基づく実践（実践Ⅲ）では，実践Ⅰにおける成果及び課題を踏まえ，体づくり運動領域固有の愛好的態度について検討した。

これら一連の検討を通じて，体づくり運動領域の運動における自他の心と体の「かかわり」に関する重要性，並びに，「自己」「他者」「モノ」の「かかわり」における相互主体的な関係性が示唆された。これらのことから，小学校体育科における体づくり運動領域固有の愛好的態度とは，「運動の中で，自己と他者の心と体が相互主体的に関わり合うことで育まれる態度」であることが明らかとなった。